

鹿児島市セーフコミュニティ
DV防止対策委員会
～活動報告～



報告者：DV防止対策委員会 委員長 下敷領 須美子
(公益社団法人 鹿児島県助産師会 監事)

目標達成のための取組概要

具体的目標1：若者に対する予防啓発の充実

具体的な目標2：DVの正しい理解と気づきの促進

- 取組① DV防止のための情報提供及び啓発
- 取組② 若者による若者のための暴力未然防止活動
- 取組③ 相談員の資質向上による相談体制の充実

啓発の取組例

医師会・美容室・金融機関の協力



カードサイズDVリーフレットの作成・配布



パープルリボンキャンペーン

などなど... 3

デートDV防止啓発誌の作成・配布

デートDV講演会の開催

○対象

市内の中学、高校、大学、短期大学、専門学校に通う学生

○効果

- ・親密な交際が始まる時期に、学ぶ機会の少ないDVについて学習の機会を提供できる。
- ・DVを正しく知ることによってDVに気付くことができる。

○実施状況：2015年度16校（4,103人）



若者による若者のためのデートDV講座開催

○内 容

大学生のピアカウンセラーが市内の中学・高校生を対象にデートDVについてワークショップを行う。



○効 果

年齢の近い大学生等から学ぶことで、問題をより身近に感じられ、被害者・加害者にならないための予防行動への動機づけとなる。

○実施状況: 2015年度 1校(148人)

相談員の資質向上による相談体制の充実

○対象 DV被害者支援に携わる者

○内容 ①DV被害者支援啓発講座の開催

②県・市町村のDV担当課長等研修会、DVに係る相談業務研修会、暴力被害者支援セミナー、コーディネーター研修等

③支援関係者向けリーフレット作成・配付

支援者が学ぶ機会を設け、傾聴の技術や二次被害防止を含めたスキル向上を図っていく。
⇒相談体制が充実することで、被害者が安心して相談することができる。

◎今後の展望

現状

- 関係機関の協議で改めて分かったDV問題の根深さ・複雑さ

課題

- 誰にも(どこにも)相談しない人が多く、DVへの理解や相談先等の周知不足
- 若者のDV予防学習経験が少ない

展望

- 関係機関による横断的な広報啓発活動の実施
- DV防止に向け若い世代へのアプローチ
- 相談員の資質向上



ご清聴
ありがとう
ございました。

みんなで作る セーフコミュニティ かごしま